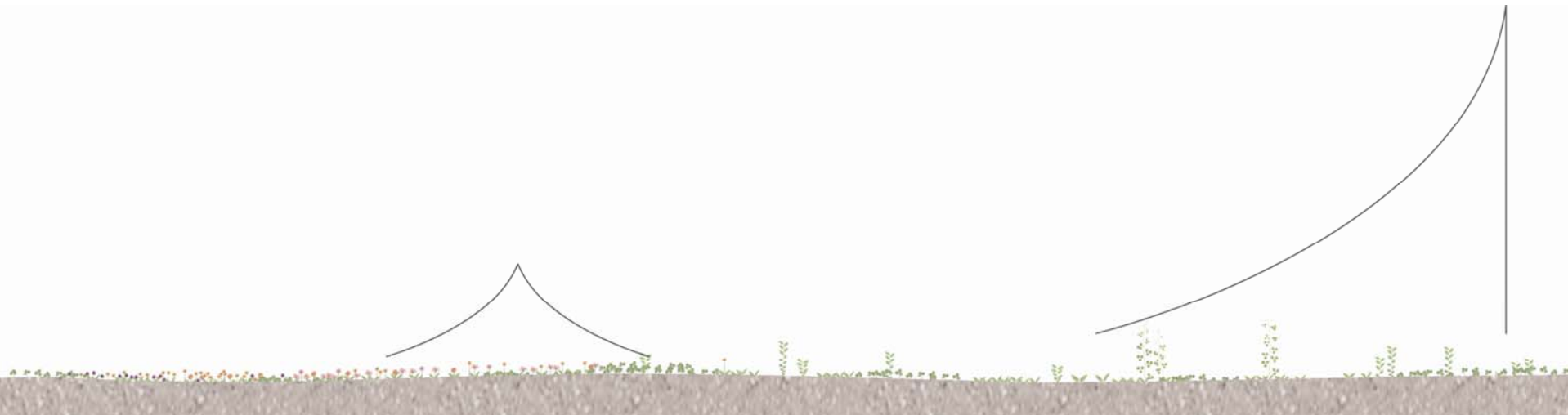


ひとつながりの、けんちく。



ひとつながりの、けんちく。

約 20 万㎡の広大な敷地にキャンプ場と建築が共存します。

緩やかな勾配を上下左右にうねる一本の散歩道。

散歩道と建築はひとつながりになり、キャンプ場に絡みつきます。

一つでなく、分棟でもない、「ひとつながりの、けんちく」を提案します。



提案へのステップ

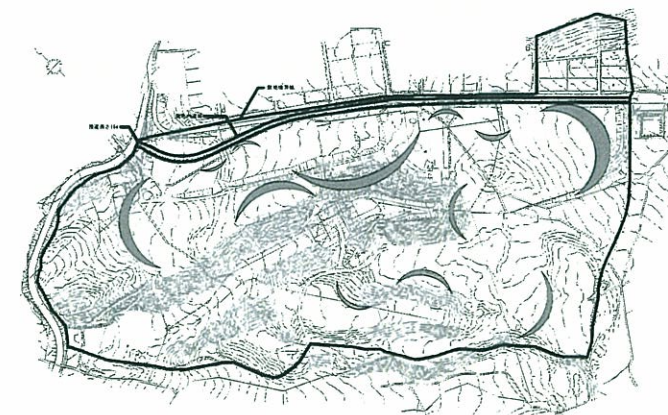
地形にはルールがありません。
地形はミリ以下の単位で変化しています。
直線という概念はなく、多次元にて構成されています。
それは、地形が自然発生的に生み出した姿であるのです。

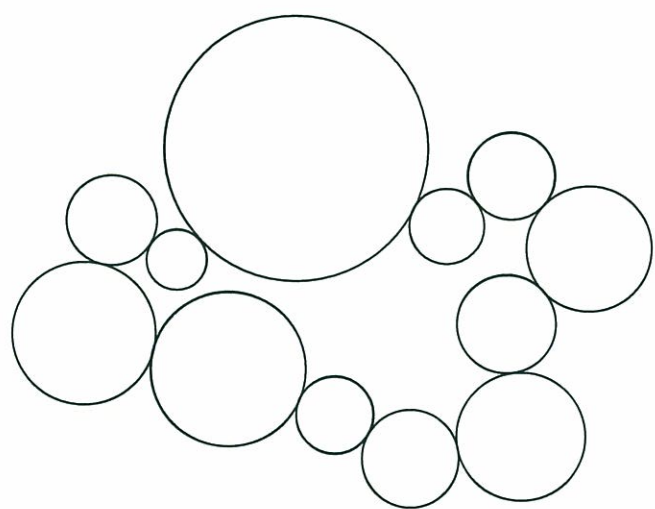


建築には見えないルールがあります。
平面はカーブし、屋根は反り返り、地形と共に床が上下しています。
建築は地形と呼応し、多次元にて構成されています。
それは、我々設計者が感覚的に生み出した姿であるのです。

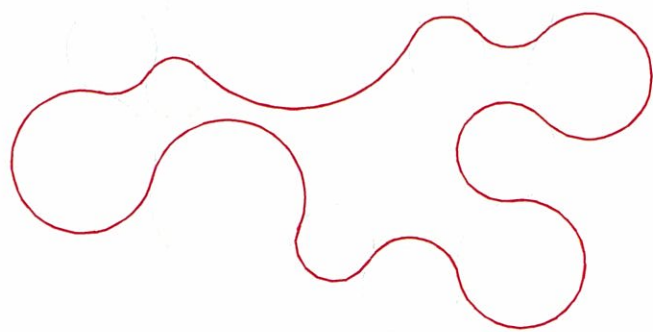


地形と建築は親密な関係になり、同時に変化していきます。
キャンプ場という非日常的な生活の場に、可能性と共に斬新なデザインを提案します。

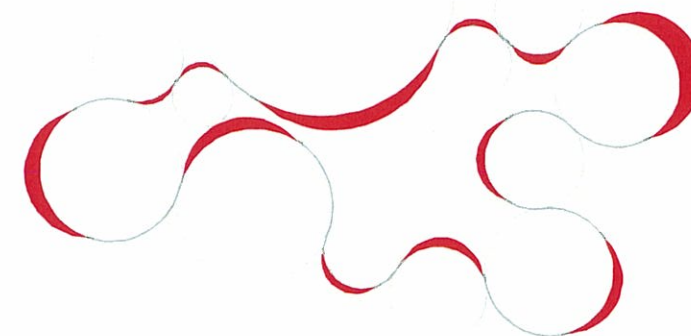




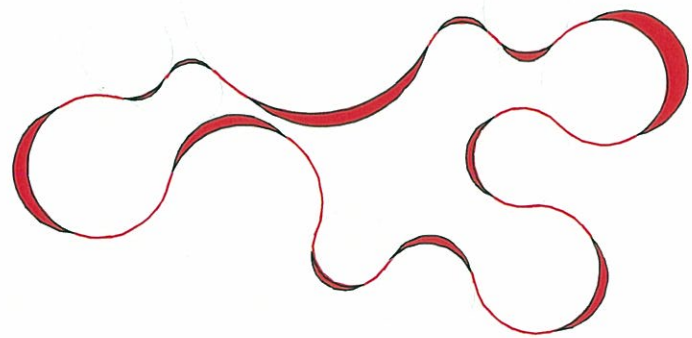
場をつくる。



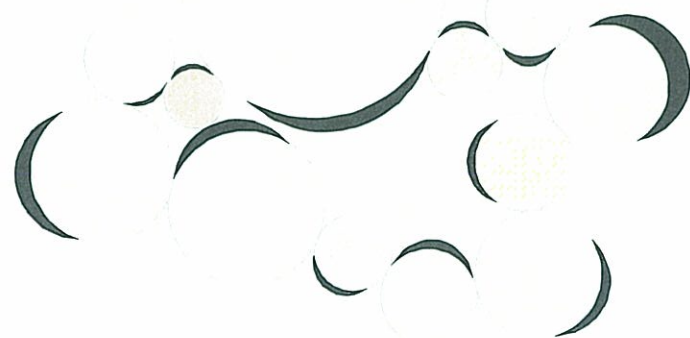
場をつなぐ。



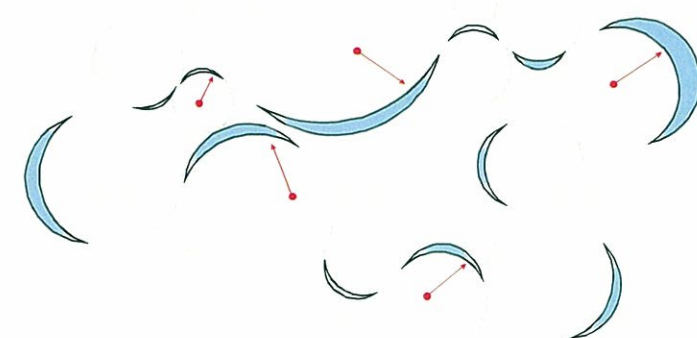
建築ができる。



1本の散歩道（見学ルート）。
マウンテンバイクのコースにもなる。



様々な場によるキャンプスタイル。
シーケンスが生まれる。



見守られている安心感。
水場と近い利便性。